



発行所  
〒410003 茅野市本町西106  
茅野市民新聞社  
編集・発行人 藤原 建  
電話 代表 72-5222  
73-0222  
FAX 73-7222  
インターネットページ  
www.shimin.co.jp  
E-mail  
chino@shimin.co.jp  
©茅野市民新聞社 2014年  
定価1ヵ月1,320円  
1部売り50円 (税込み)  
本紙をお届けする販売店  
信濃町C茅野営業所 ☎72-4198  
小林新聞店 ☎79-2461  
信濃町C原村営業所 ☎70-1175  
コンビニもご利用ください

# 感性豊かに土器デッサン

## 小中学生が縄文アート

館美 市民堂  
市康 公耀



本物の土器の感触を味わいながら創造力を膨らませた

茅野市公民館が康 した全体像をデッサン 堂美術館(豊平)と又 イアアップし行い4年目 を迎えた公民館講座 一縄文アートが25日、 青少年自然の森と同学 術館で行われ、小学生 11人と中学生8人が本 物の縄文土器に触れな がら破片からイメージ

授らが講師となり、一 年目は縄文住居跡の炉 周辺の土から絵の具を 作り、現代社会の暮らしを 描いた。2年目は 縄文の土のクレヨンで 土器の破片から想像し た全体像、昨年とはさ まざまなコーシユ作品 を仕上げるなど子ども

古館守矢昌文館長が講 師を務めた。今回は実 際の土器の感触を確か めながら色、温度、質 感、匂い、それぞれが 受けた空気を当時の 生活に思いを巡らせ た。土器の鑑賞では 「見る、考える、話す、 人の話を聞く」ことに 心掛けながら、土器の デッサンでは「目で見 るようにしっかりと触 る」とアドバイスを受

け、真剣な表情で繊細 な土器の文様を写し取 っていた。 土器の感触に児童、 生徒は「思った以上に 軽い」「細かい装飾や 模様から一所懸命作っ たことがわかる」「模 様は滑り止めの効果も あるのではないかなど 感想を発表。森本 教授は「子どもたちの 持っている創造力は大人 以上に豊か、現代っ 子たちはシャイでなか なか発言できないが、 対話型の鑑賞授業を行 うなかで面白さに気づ き、それを引き出して や考えを引き出すこと

たちの豊かな創造力で 斬新な発想に磨きを掛けてい

森本教授 と同大アイ ト・コミュニ ケーション ン研究セン ター講師北 野諒さん、 尖石縄文考

がで自分たちの勉強 にもなる」と話す。 毎年、豊かな創造力 で考古学的な見解では なく子どもたちの感性 が表れた面白い作品で 鑑賞者の心を縄文にい

ざなう。今回の作品は 28日(水)から6月8 日(日)まで康耀堂美 術館に、その後、7月 1日(火)から市文化 センターに展示される 予定。